

「現役合格と浪人どっちが得？」(2)

- 浪人率を君は知っているか -

【上位高は 10 人に 4 人が浪人？】

右の表をご覧ください。これは平成 20 年の茨城県の統計資料から推定される、各高校出身で浪人をしている割合である。上位は、

- ①土浦第一 (44.2%)
- ②水戸第一 (39.9%)
- ③江戸川学園取手 (38.7%)

が 4 割近くにあり、続いて④緑岡、⑤茨城（私立）が 3 割。⑥茗溪学園、⑦水戸桜ノ牧、⑧竜ヶ崎第一、⑨太田第一、⑩日立第一、⑪清真学園、⑫竹園が 2 割程度となっている。県西地区（旧第五学区）を見ると、

- 竹園 (19.1%)
- 下妻第一 (16.4%)
- 並木 (16.3%)
- 水海道第一 (8.8%)
- 下館第一 (7.2%)

と比較的低い比率となっている。この結果は浪人する環境（大手予備校等へのアクセス）が整っている都市部の高校が高くなっている点に注目する必要があるが、いわゆる難関高校の生徒が高いレベルの大学を狙って浪人する図式が大学全入時代を迎えた現在も続いていると言えるだろう。

【プライドだけ？】

では何故いい大学に入ることがよいことなのだろうか。もちろんいい大学に入れば世間体がよく、自分のプライドも満足させられる。次の表は週刊東洋経済が発表している、大学別の就職力（就職率×出世率×年収）ランキングの上位である。い

①	土浦第一	44.2%
②	水戸第一	39.9%
③	江戸川取手	38.7%
④	緑岡	30.8%
⑤	茨城	30.5%
⑥	茗溪学園	25.5%
⑦	水戸桜ノ牧	22.2%
⑧	竜ヶ崎第一	22.1%
⑨	太田第一	22.1%
⑩	日立第一	21.6%
⑪	清真学園	19.5%
⑫	竹園	19.1%
⑬	下妻第一	16.4%
⑭	並木	16.3%
⑮	水戸第二	15.8%
⑯	牛久栄進	15.3%
⑰	鉾田第一	12.3%
⑱	土浦第二	10.2%
⑲	日立北	9.8%
⑳	常総学院	9.4%
㉑	水海道第一	8.8%
㉒	土浦日大	7.8%
㉓	古河第三	7.4%
㉔	下館第一	7.2%
㉕	水戸第三	6.2%
㉖	東洋大牛久	5.1%
㉗	境	5.0%
㉘	岩瀬日大	4.0%
㉙	土浦第三	3.0%

わゆる難関大学が上位を占め年収が 30 代で 600 万円に達する高所得である。つまり、生涯年収を考えれば 1～2 年の浪人は十分見返りがあると考えられるわけである。しかし、みんながみんな高所得（お金持ち）になろうとはしていない。生きがいとなる仕事につくことも大切だし、家族を大事にした生活を送ることもいいだろう。ここから先はどういう人生を送りたいかという価値観によって大きく変わる。

【現役 VS 浪人】

前回、浪人はお金がかかることをお伝えしたが、目先の比較だけではどちらが得なのかはわからないことを了解していただけだろうか。では何を基準にして、浪人を決めるべきなのだろうか。それは受験勉強に悔いを残さないことである。受験勉強に全力で取り組み、それでもあと一歩足りなければ、浪人すればいいのではないだろうか。

皆さんが悔いのない受験勉強をスタートしていることを、心から希望しています。

結論

- 悔いのない受験勉強をしよう。
- 将来設計を考え、目標校にチャレンジしよう。
- 何のために大学に行くのかを再確認しよう。

		30代での年収 (単位：万円)
1	東京大学	662
2	慶應義塾大学	673
3	大阪大学	602
4	京都大学	627
5	早稲田大学	641
6	東北大学	598
7	豊田工業大学	574
8	九州大学	594
9	北里大学	638
10	北海道大学	603
11	津田塾大学	636
12	神戸大学	616
13	東京工業大学	618
14	同志社大学	604
15	名古屋大学	617
16	東北福祉大学	576
17	千葉大学	585
18	一橋大学	699
19	明治大学	611
20	広島大学	576